

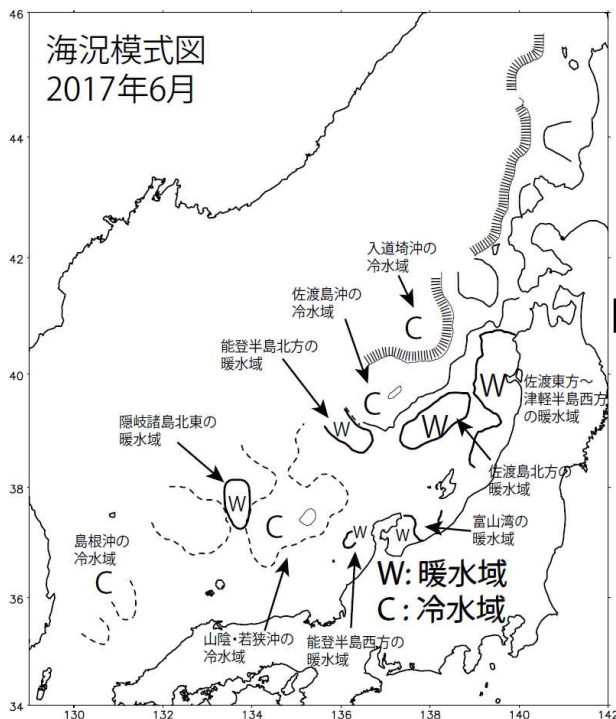


平成29年度 第2回 日本海海況予報

－ 別表の水産関係機関が検討し国立研究開発法人水産研究・教育機構
日本海区水産研究所がとりまとめた結果 －

今後の見通し(平成29年7月中旬～9月)のポイント

- ・ 対馬暖流域の表面水温は”やや高め”で経過する。
- ・ 対馬暖流域の50m深水温は日本海北部及び西部ともに”やや高め”で経過する。



2017年7月中旬～9月の海況

- 隠岐諸島北東の暖水域は勢力を縮小しつつ停滞。
- 能登半島北方の暖水域は勢力を拡大しつつ停滞。
- 能登半島西方の暖水域は北に進み能登半島北西に分布。
- 富山湾の暖水域は消滅。
- 佐渡島北方の暖水域は停滞し能登半島北方の暖水域と合体。
- 佐渡島東方～津軽半島西方の暖水域は勢力を縮小しつつ北進。
- 島根沖の冷水域の張り出しは規模はやや小さく接岸状況は平年並み。
- 山陰・若狭沖の冷水域の張り出しは規模は平年並みでかなり離岸。
- 佐渡島沖の冷水域の張り出しは規模はかなり小さくかなり離岸。
- 入道埼沖の冷水域の張り出しは規模はやや小さくやや離岸。

問い合わせ先

国立研究開発法人 水産研究・教育機構 日本海区水産研究所

担当：業務推進部 加藤、江連

資源環境部 渡邊、本多

電話：025-228-0451、ファックス：025-224-0950

当資料のホームページ掲載先URL

<http://abchan.fra.go.jp/>

平成29年度 第2回 日本海海況予報

1. 今後の見通し（2017年7月中旬～9月）

- (1) 隠岐諸島北東の暖水域は、勢力を縮小しつつ停滞する。能登半島北方の暖水域は、勢力を拡大しつつ停滞する。能登半島西方の暖水域は北に進み、能登半島北西に分布する。富山湾の暖水域は消滅する。佐渡島北方の暖水域は停滞し、能登半島北方の暖水域と合体する。佐渡島東方～津軽半島西方の暖水域は勢力を縮小しつつ北に進む。
- (2) 島根沖の冷水域の張り出しは、規模はやや小さく接岸状況は平年並みで経過する。山陰・若狭沖の冷水域の張り出しは、規模は平年並みでかなり離岸で経過する。佐渡島沖の冷水域の張り出しは、規模はかなり小さくかなり離岸で経過する。入道埼沖の冷水域の張り出しは、規模はやや小さくやや離岸で経過する。
- (3) 対馬暖流域の表面水温は、“やや高め”で経過する。
- (4) 対馬暖流域の50m深水温は、日本海北部及び西部ともに“やや高め”で経過する。

2. 経過（2017年3月～5月）

- (1) 3月に隠岐諸島東方で見られた暖水域は4～5月に発達しつつ東進。3月に隠岐諸島北東に見られた暖水域は4月に南西に移動し、5月は停滞。3月に若狭湾北東に見られた暖水域は4月に北に移動した後、5月に2つに分離。その後、一つは能登半島北方に移動し、もう一つは西進して隠岐諸島北東の暖水域と合体。3月に能登半島北方に見られた暖水域は4月に勢力を拡大しつつ東に移動し、5月に能登半島北東に分布。3月に佐渡島北方に見られた暖水域は東に進み、5月には佐渡島北方に分布。3月に佐渡島東方～津軽半島西方に見られた暖水域は4月に北上し、5月に津軽海峡から流出。5月に、富山湾、山形県沿岸に暖水域が発生。
- (2) 島根沖の冷水域は、3月は規模はかなり小さく離岸距離は平年並み、4～5月は規模はやや小さく離岸距離は平年並み。山陰・若狭沖の冷水域は、3月は規模はやや小さくやや離岸、4～5月はかなり小さくかなり離岸。佐渡島沖の冷水域は、3月は規模はやや小さくかなり離岸、4～5月は規模はやや小さく離岸距離は平年並み。入道埼沖の冷水域は、3月は規模はかなり小さくかなり離岸、4月ははなはだ小さくはなはだ離岸、5月はやや小さく離岸距離は平年並み。
- (3) 対馬暖流域の表面水温
3月は、但馬北方、佐渡北西で“平年並み”、山形県沿岸で“やや低め”以外は概ね“やや高め”～“かなり高め”。4月は、島根県西方、佐渡北西、山形県沿岸で“平年並み”、島根県沿岸～隠岐諸島、隠岐北東、新潟県沿岸で“はなはだ高め”以外は概ね“やや高め”～“かなり高め”。5月は、佐渡から山形県沿岸にかけて“やや低め”～“かなり低め”、若狭湾で“やや低め”以外は概ね“やや高め”～“かなり高め”。
- (4) 対馬暖流域の50m深水温は、3月は日本海北部では“やや高め”、西部では“かなり高め”。

3. 現況（2017年6月）

- (1) 暖水域は、隠岐諸島北東、能登半島北方、能登半島西方、富山湾、佐渡島北方、佐渡島東方～津軽半島西方に分布。
- (2) 島根沖の冷水域は、規模はやや小さく接岸状況は平年並み。山陰・若狭沖の冷水域は、規模は平年並みではなはだ離岸。佐渡島沖の冷水域は、規模はやや小さくかなり離岸。入道埼沖の冷水域は、規模はかなり小さくかなり離岸。
- (3) 対馬暖流域の表面水温は、山口県沿岸、若狭湾西部、能登半西方～北方、富山湾、新潟県沿岸、津軽半島西方で“かなり高め”～“はなはだ高め”以外は、概ね“やや高め”～“平年並み”。
- (4) 対馬暖流域の50m深水温は、日本海北部で“やや高め”西部で“やや高め”。

(註) 引用符(“ ”)で囲んで表した、平年比較の水温の高低の程度は以下のとおり

- | | |
|--------------|--------------------------------|
| “はなはだ高め(低め)” | : 約20年以上に1回の出現確率である2℃程度の高さ(低さ) |
| “かなり高め(低め)” | : 約10年に1回の出現確率である1.5℃程度の高さ(低さ) |
| “やや高め(低め)” | : 約4年に1回の出現確率である1℃程度の高さ(低さ) |
| “平年並み” | : 約2年に1回の出現確率で、平年値±0.5℃程度の水温 |

参 画 機 関

地方独立行政法人 北海道立総合研究機構 水産研究本部 中央水産試験場	福井県水産試験場
地方独立行政法人 青森県産業技術センター 水産総合研究所	京都府農林水産技術センター 海洋センター
秋田県水産振興センター	兵庫県立農林水産技術総合センター 但馬水産技術センター
山形県水産試験場	鳥取県水産試験場
新潟県水産海洋研究所	島根県水産技術センター
富山県農林水産総合技術センター 水産研究所	山口県水産研究センター
石川県水産総合センター	一般社団法人 漁業情報サービスセンター (取りまとめ機関) 国立研究開発法人 水産研究・教育機構 日本海区水産研究所